



平成十八年 新春号

社会福祉法人 伏見福祉会 広報誌

きこうと
醍醐の里

題字・発行人
理事長 高松俊英

介護老人保健施設 醍醐の里
京都市伏見区醍醐内ヶ井戸19-1
TEL(075)571-5222
FAX(075)573-7666

施設運営理念

1. 老人の人権を尊重し、生活の質の向上に努める。
2. 老人の自立を支援し、家庭復帰を目指す。
3. 老人とその家族が安心して暮らせるまちづくりに貢献する。

幸いに利用者の皆様と、そのご家族の方々には勿論のこと、地域社会からも醍醐地域に根ざした老人保健施設として大きな

お陰をもちまして、本年は施設開設五周年を迎える事となり、これまでこの施設を利用されるお年寄りの生命の尊厳を大切に生活、自立支援を通じて、やすらぎの施設づくりを目指してまいりました。

迎えること大慶に存じます。昨年、法人の運営・施設の事業にご理解を頂き、格別の支援を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様にはお健やかに新春をお

謹賀新年

新年のご挨拶
社会福祉法人伏見福祉会
理事長 高松 俊英

期待が寄せられてまいりました。私達法人役員をはじめ、施設職員は、この社会的要請に对应、その責任を果たさねばと決意を新たにしています。

今、介護保険をめぐる財政事情は利用者にとっても、施設にとっても大変厳しく、この危機的状况を克服するため、平成十八年から導入される第三者評価を受け、その活用による新しい施設運営システムづくりを検討し、常に利用者にとって潤いと安らぎを提供する施設であるよう努力してまいりたいと存じます。一層のご支援をお願いし、新年のごあいさつと致します。



施設長 あいさつ

介護老人保健施設

醍醐の里

施設長 福井 巖

明けましておめでとうございます。皆様それぞれ良き新年を迎えられたことと存じます。

昨年は、施設の運営に皆様の格別なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

二〇〇五年は、治安の悪化や、マンション耐震強度の偽装問題など、暗いニュースも数々ありましたが、阪神タイガースのセリーグ優勝など、関西を元気づける明るいニュースも多くありました。

一方、私ども施設にとりましても、介護保険法の改定に伴いご利用者の方々に、食費の他、居住費のご負担をお願いし、大変厳しい年でありました。二〇〇六年も、施設を取り巻く経営環境は大変厳しいものがありますが、施設、全職員、スタッフは、こころを込めた介護・看護・医療に努め、総合的なサービスに向かって一段の努力を致す覚悟でありますので、皆様方のご協力を切にお願い致します。

皆様方にとりまして、本年がより幸せで健康な一年となります事を、心からお祈り申し上げます。



敬老会 報告



昨年の九月十七日(土)に、敬老会が行われました。国民の祝日である、敬老の日(九月十九日)を前に、多年にわたり社会に尽くされてきた御年寄りを敬愛し、長寿をお祝いするといふ趣旨のもと、「古希 七〇歳」、「喜寿 七七歳」、「傘寿 八〇歳」、「米寿 八八歳」、「卒寿 九〇歳」、「白寿 九九歳」の方をそれぞれ表彰させていただきました。表彰式は、1階フロア会場に設置された舞台の上で行われ、ご利用者様に表彰状と記念品の贈呈をさせていただきました。表彰を受けられるご利用者様の中には、ほとんど付き添いの介助を必要とせず、元気に壇上へ上がられる姿も見受けられ、会場では大きな拍手が鳴り響いていました。表彰を受けた方も、一緒にお祝いしていただいた方も、この日は、ご自身が主役でありましたので、とても喜んでいただいていたようにお見受けしました。



表彰者の代表



表彰式

職員による漫談



歌謡ショー



表彰式のあとは、ボランティアの中村瞳様による歌謡ショーでした。昔懐かしい歌や、心温まる歌を披露していただき、ショーの最後には、利用者様も一緒に全員で唄を合唱したりと、楽しいひとときを過ごしていただきました。敬老会終了後は、各フロアに戻られてから、おやつとして紅白まんじゅうを召し上がっていただきました。また、通所のご利用者様は当日の昼食時に、入所のご利用者様には、翌日の夕食時に、それぞれ、敬老祝いのお膳を召し上がっていただきました。見た目、味と楽しんでいただけただけではないかと思っております。

一年の内で、いくつかある大きな行事の中でも、ご利用者様が主役となる行事は敬老会が最たるものです。その行事を多少なりとも、ご利用者様の毎日の活力としていただけるようなものにしていくべく、今後も努力してまいります。

敬老会実行委員長 太田 和彦

醍醐の里 防災委員会

今回の新春号で二回目の委員会紹介となりますが、今回は、昨年九月二十二日に行われました「伏見自衛消防協議会 訓練大会」への参加についてご報告いたします。

まず始めに、醍醐の里防災委員会（醍醐の里 自衛消防団）は、「防災知識の習得」と「自衛消防活動の技術向上」、「他事業所との情報交換や連携」を目的に伏見自衛消防協議会へ加入しています。協議会には約八十の事業所が参加されており、活動技術向上と自衛消防体制の充実を図るため、訓練大会が毎年開催されています。

今回、私達が出場した訓練内容は、二名一組で行われる「屋内二号消火栓操作」です。訓練大会



消防訓練大会

に備え、醍醐消防分署にて練習を重ねましたが、結果として練習の成果を発揮出来たとは言えず、あらためて日ごろの訓練の大

切さを実感しました。同時に、他事業所消防隊の訓練や消防署の模範訓練を拝見し、勉強させていただきました。訓練大会には次回も参加させて頂く所ですが、訓練を重ね、有事にしっかりと消火活動が出来る体制を整えていきたいと考えております。

また、この寒さの厳しい時期、空気も乾燥し火の元にも十分注意しなければなりません。防災委員会としましては、消火訓練と共に防火に対する注意喚起も忘れずに行ってまいります。

最後になりましたが、消防訓練の事前練習におきましては、醍醐消防分署の皆様が日頃の激務の間をぬってご指導下さいました。この場を借りまして、お礼申し上げます。

防災委員会 牧野 恒幸

老健の災害時の役割



醍醐の里防災委員会は、その発足以来、ご利用

者様の安全な生活を第一に考えつつ、災害時の地域に対する役割についても検討を重ねてまいりました。災害時に施設が果たせる役割として、まず考えられるのは、「避難所」としての機能です。しかし、「避難所」として地域の皆様方にご利用頂く為には、いくつかの検討事項や解決しなければいけない事項があります。主だった課題としては、

第一に、「避難所としての開放範囲の検討」
第二に、「災害時の備蓄物及び量の検討」といった事柄です。

醍醐の里は、建物自体大きく、多くの居住スペースがあります。しかし、入所されているご利用者様の安全と健康を考えなければならぬ以上、残念ながら、施設全てを開放する訳にはいかないのが現状です。次に現在、醍醐の里では災害時にライフラインが途切れてしまう可能性を考慮し、少なくとも三日間は入所者（ご利用者様）の生活が維持できるような飲料水、医薬品、日用品の備蓄を実施しています。しかし、「地域」にまで目を向けた際には、不十分な備蓄といわざるを得ないでしょう。

また、飲料水だけではなく、非常用食料やその他の必要物資の備蓄も検討していかねばならない課題と言えます。これら以外にも「避難所運営マニュアルの作成」・「避難所開設・運営訓練の実施」・「避難所の周知」といった課題が山積しています。

地域に根ざした施設として、災害時に応援協力をスムーズに行っていく為にもこれらの課題と向き合い、また地域住民の皆様と平常時から交流していけますよう、取り組んでいきたいと思っております。

防災委員会 松本 宗久



『郊外遠足 秋の府立植物園散策』

二階療養棟

二階療養棟では十月という、比較的気候の良い日を選定し、郊外遠足と称して京都府立植物園へ出掛けて参りました。今回の外出では、三日間ともに晴天に恵まれ、汗ばむ程の陽気の中、ご利用者様には、季節感を存分に味わっていただけたのではないかと思います。園内では季節の花の観賞の他、期間限定の菊花展も観賞することができました。それらを愛でながらのお弁当も、「おいしい、おいしい」と普段よりたくさん召し上がった方がほとんどでした。道中、施設内とは違った路面状況での歩行や、不慣れな長時間の外出に、帰所後は、少しお疲れの様子も見受けられましたが、「よかった。また、行きたい。」「楽しかった」など良い感想をいただけたので、私達スタッフも大変嬉しく感じております。

今後も季節を考慮し、年二回を目安に外出の機会を取り入れたいと考えております。どうぞおたのしみにも！



『秋の紅葉散策』

三階療養棟

3階では、紅葉シーズンに先駆けて、利用者様に季節を感じて頂くこと、利用者様の体調を十分に考慮し、甲ノ辻公園、北堀公園、柳が崎湖畔公園へ外出してきました。

外出先では、冬の到来を感じさせる肌寒い風が吹いていましたが、利用者様より「天気よくて気持ちいいね。」「綺麗な花やね。」「空気が良くていい所ね」など沢山の喜びの声を頂き、スタッフ一同うれしく思っています。普段は、感情を顔にだせない利用者様も、この日は、子供のようにはしゃいでおられました。普段は施設の建物の中で過ごされているので、季節の変わり目など、体で季節を感じてもらおうことの大切さを感じました。

また、紅葉散策に行くからと、いつもよりリハビリを熱心に取り組まれるなど、目的（目標）のある生活の有効性も感じました。今年も、郊外レクリエーションの企画を考えていますので楽しみにして下さい。



『認知症棟 生活リハビリ』

四階療養棟

4階療養棟（認知症専門棟）では、生活リハビリの一貫として、昔のことを少しでも思い出して頂けるように、土をいじり、作物を育て、そして収穫に至るまで、世話をする喜びを感じてもらっています。



収穫した野菜は、ぬか床を作り、漬物として食べられるものは漬け、トマトなどの生野菜は、夕食時に味わって頂きました。夕食に出てきたときは、スタッフが一言、「皆様が、4階で育てた野菜です。どうぞ召し上がってください。」と声をかけると、「おいしい」「最高」「これがあの野菜？」など、たくさん声を頂きました。

現在、4階ベランダ菜園において、秋ごろに植え付けたお花の手入れと甘日大根の収穫を楽しんでいます。水が冷たい季節ですが、「外の空気に触れると気持ちが良いから。」と言われ、欠かさず水やりをされています。

先日は、霜月の名の如く肌寒い中、牛尾山まで紅葉ドライブに出かけました。途中、小川のせせらぎがあり、バスの中から見える赤や黄色の木々の景色は美しく、利用者様も感動されていました。おみやげにもみじの葉を拾い集められる利用者様もおられました。



『宇治の中の島へ 紅葉散策』

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションでは、十一月の六日間に分けて「宇治の中の島」に紅葉散策へ行きました。

今年のもみじは、色づきがまばらでしたがその様子も「また、味があつて良い」と利用者様から言つて頂きました。また、今年はイチョウの木がとても綺麗に色づいて「黄色つてあんなにいい色なんだ」とあらためて季節を感じて頂けたように思いました。



「言語聴覚士とは」

言語聴覚士 加藤真由美

皆様、明けましておめでとうございます。どんな新年を迎えられましたでしょうか。月日の経つのは早いもので、私が「醍醐の里」の言語聴覚士として仕事を始めて四ヶ月余が過ぎました。皆様にも少しずつ私の「顔」を覚えて頂いていると思います。

ところで、「言語聴覚士」の仕事についてご説明したいと思います。「言語聴覚士」とは、字のごとく「言語障害」や「聴覚障害」の方に、「訓練・指導」を行います。また、「認知症」や「高次脳機能障害」の方のコミュニケーション障害等に対してもアプローチ致します。

他に、「摂食・嚥下障害」の方への「訓練・指導」も重要な仕事になります。食事の時間に「よく現れる」ので、食事の「専門家」と思つていらつしやる利用者の方も多いのではないのでしょうか。

摂食・嚥下障害の方への「訓練・指導」はあくまでも、仕事の一部です。「言語障害」や「高次脳機能障害」については、また改めてご説明する機会を持ちたいと思います。

少しずつ、皆様に「言語聴覚士」の仕事を理解して頂き、楽しく「仕事」して行きたいと思つていきます。今後とも宜しくお願い致します。時節柄、風邪など引き易くなっております。どうぞ、皆様、ご自愛下さい。



理事会報告

社会福祉法人 伏見福祉会

*任期満了に伴う役員決まる

平成十七年十月四日付けにて任期満了となる当法人の理事及び監事並びに評議員が選任され、また、法人の代表である理事長に、引き続き、高松俊英氏にお引き受けいただくことになりました。

役員の任期は、2年となっています。選任された役員は、左記の通りです。

第四期 役員名簿

| | |
|----------|--------|
| 理事長(評議員) | 高松 俊英 |
| 理事(評議員) | 福井 巖 |
| 理事(評議員) | 村井 信夫 |
| 理事(評議員) | 林 信子 |
| 理事(評議員) | 藪田 信一 |
| 理事(評議員) | 水口 美智代 |
| 理事(評議員) | 箕口 新一 |
| 理事(評議員) | 市田 恒夫 |
| 理事(評議員) | 駒榮 さとみ |
| 理事(評議員) | 佐野 喜一郎 |
| 理事(評議員) | 岩井 義男 |
| 理事(評議員) | 本田 栄一 |
| 理事(評議員) | 三木 通三 |
| 理事(評議員) | 太田 政男 |
| 理事(評議員) | 中西 雅彦 |
| 理事(評議員) | 川端 良一 |
| 理事(評議員) | 細川 輝美 |

以上

第五回 クリスマス会

今年の十二月二十四日に第五回 醍醐の里クリスマス会を開催いたしました。

当日、四階療養棟で体調不良の方が普段より多くいらっしやうたため、四階の利用者様は急遽、四階フロアでのクリスマス会となり、他の階の利用者様は予定通り一階フロアにての開催となりました。利用者様全員でのクリスマス会を行えなかったことは、大変残念でしたが、当日の変更にもかかわらず、四階は職員が一丸となって盛り上げることに専念し、四階らしい、良いクリスマス会ができ、職員一同ホッと胸をなでおろしている次第です。

今回もクリスマス会は、利用者様が主役となり、歌や合奏を発表しあっていたいただきました。この日の為に練習を重ねてきた成果を発表するという少しの緊張感と、無事に発表し、力を発揮することができた達成感を味わっていただけたのではないかと思います。クリスマス会の後は、各フロアで当施設のサンタクロスによるプレゼント贈呈があり、粗品ではございましたが、大変喜んで頂きました。

今後も、日常の中でいつもと違った雰囲気を楽しんでいただけるような行事を企画し、利用者様と共に作り上げて行きたいと思っております。

クリスマス会実行委員長 田中 仲美



後記

明けましておめでとうございませう。昨年の末より、何度か雪が積もりました。寒さが厳しい季節、お風邪など引かれませう。年明け早々、「初詣（郊外レクリエーション）」など施設行事が始まります。今年も、ご利用者様のニーズに応えながら、健康・安全を第一に考え、スタッフ一同頑張りたいと思っております。

当施設も開所より早5年が経ちました。ご利用者様から沢山の事を学び、醍醐の里も大きく成長する事ができました。今年もご利用者様と一緒に醍醐の里がより良い施設になるよう成長していきたいと思っております。

広報委員 買手久美子

クリスマスも終わり、一気にお正月を駆け抜けたように思います。今年で醍醐の里も六年目を迎える事となりました。新年には、各階初詣などの行事や利用者様に新年を感じて頂けるようデイルームをお正月風に飾ってみたり、お食事（おやつクッキングなど）にも力をいれています。今後ともよろしくお願ひ致します。

広報委員 宇野 晴菜